

岡山商科大学孔子学院、「孔子学院の日」イベント開催

「孔子学院の日」を祝うため、9月28日午後1時より、岡山商科大学孔子学院にて展示会と講座などを含めた「孔子学院の日」イベントを開催した。これは本学院設立18周年記念行事を兼ねたものである。

イベントでは本孔子学院の佐々木皓平事務局長が司会を務め、黎曉妮学院長が開会の挨拶を述べ、韓雲冬副学院長が講師紹介をした。本孔子学院中国語講座受講生と岡山市民の方々が参加した。



イベントは3つの部に分かれていた。第1部は「中国書道講座」で、大連市書道家協会理事・大連外国語大学新聞と伝播学院准教授の張景業先生が講師を担当し、孟海霞副学院長が通訳を担当した。張先生は「中国伝統書道の審美と実践」をテーマに、中国書道の発展の流れを軸にして、甲骨文字、金文から篆、隸、楷、行、草への歴史の変遷をわかりやすく解説され、また筆法、字法、章法、墨法という四つの次元から中国伝統書道の審美的要素を分析した。そのあと、参加者に小篆、隸書という書体で字を書いてもらい、張先生がその書道の実践を指導した。





第2部は公開ミニ中国語講座で、中国語教師の朱風先生が実例を通して助詞「的」「得」「地」の使い方を説明し、来場者は応用能力の向上を目指し、会話練習をした。

第3部は太極拳体験コーナーで、張景業先生は実演しながら解説し、伝統太極拳の健康づくり効果と練習の要領を伝授した。韓雲冬副学院長が通訳を担当した。参加者たちは張先生と一緒に楽しく太極拳を体験し、心身ともにリフレッシュさせた。



イベント期間中、孔子学院のホールでは「張景業書道作品展」という展示会を開催した。剛健な筆力と滑らかな線で表現した張先生の書道作品は、その深い芸術表現力で参加者の心をひきつけた。

今回の書道作品展示会と「孔子学院の日」イベントは、書道、中国語、太極拳の総合的な文化体験を通じて、中国伝統文化の奥深さと独特の魅力を表現し、本学院受講生と岡山市民の方々の中国語と文化に対する深い理解を促進した。



執筆 孟海霞·朱風

2025.9.29